

令和3年度 府立丹後緑風高等学校久美浜学舎 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（実施計画）

学校経営方針 (中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点 (短期経営目標)
<p>「夢と人・学舎・地域・世界を結び、ものごとの本質を究め、新たな価値を創り出す」人材を育成する。</p> <p><教育目標></p> <p>1 丹後地域の自然・歴史財産を活用した新しい時代に求められる探究心の育成</p> <p>2 丹後とグローバル社会を結ぶ若者力の育成</p> <p>3 丹後地域での新しい農業と食を創造できる人材の育成</p> <p>4 福祉マインドの育成</p> <p><育てる生徒像></p> <p>■ 豊かな人間性と社会人基礎力を身に付け、自ら学ぶ生徒</p> <p>■ 丹後を愛し、丹後地域の発展に貢献しようとする生徒</p>	<p>1 成果</p> <p>(1) 研究発表会「寄せN.A.B.E.」で探究活動の成果を発表したことにより、生徒の自信につながった。</p> <p>(2) 農業科目、ライフスキルにおいて、地域連携の取組を進め、多くの地域の社会人を講師に招くなど、教育活動の充実を図ることができた。</p> <p>(3) 7月に開設したアグリサイエンス科食品製造実習施設「海部Kitchen」を活用した実習に取り組むなど、本格活用に向けて準備を進めた。</p> <p>(4) 遠隔教育システムを活用した網野学舎との遠隔授業の研修を計画的に進めることができた。</p> <p>(5) 各教職員の日常的な指導により挨拶や身だしなみ等、校外での生徒の様子が改善した。</p> <p>(6) オリンピック・パラリンピック教育推進事業において、部活動生徒を中心に自己有用感を高める取組を進めることができた。</p> <p>(7) 学校だよりを計画的に発行し、本校の取組を広く発信することができた。</p> <p>2 課題</p> <p>(1) 家庭学習習慣の定着や基礎学力の着実な向上に課題がある。教員が目標を共有し、主体的な学習につながる取組を進める必要がある。</p> <p>(2) 進路についての意識の高まりが弱い。取組内容や時期等、キャリア教育の改善が必要である。</p> <p>(3) 広報の取組を行っているにも関わらず学校の様子が保護者に十分に伝わっていないことから、方法等について検討する必要がある。</p>	<p>1 論理的な思考力・主体的に学びに向かう姿勢・伝わる表現力の育成</p> <p>(1) 地域創生・地域貢献を軸とした「総合的な探究の時間」及び「課題研究」に取り組む。</p> <p>(2) ICT機器利活用・探究的指導により授業改善を進める。</p> <p>(3) 個々の課題に応じた指導を充実させるとともに、基礎学力を向上させる。</p> <p>2 自己有用感の醸成</p> <p>(1) 規範意識の醸成と健全な生活態度の育成を図る。</p> <p>(2) 部活動やボランティア活動等への積極的な参加を促し、充実感や向上心に繋がる指導を行う。</p> <p>(3) 地域や網野学舎と連携した教育活動を進める。</p> <p>3 学舎間連携の推進</p> <p>(1) 効果的な遠隔授業の実施・研究を進める。</p> <p>(2) 農商連携を計画的に進める。</p> <p>4 生徒募集に繋がる広報活動の充実</p> <p>(1) 生徒募集活動を計画的に進める。</p> <p>(2) 保護者への丁寧な情報提供を実施する。</p>

(注) 具体的方策についての目標は【 】内に記載。なお、久は久美浜高校、緑は丹後緑風高校久美浜学舎、久・緑は両校を対象とした目標。

A : 3.3~4.0 B : 2.5~3.2 C : 1.7~2.4 D : 1.0~1.6

評価領域	重点目標（取組の重点課題）	具体的方策	評価	成果と課題
組織運営	広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域をはじめ、中学生とその保護者、中学校教員等に対して、適切な時期に効果的な広報活動を実施する。 【学校だより：組織的計画的発行、HP：日々更新 久・緑】 【生徒募集：志願者の増加 緑】 		
	安心・安全・快適な教育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な安全点検の実施により、危険箇所を早期に発見し修繕を行う。 ・校内の整理整頓により、快適な教育環境の整備を図る。 ・光熱水費の節減により、学校運営費の予算を確保する。 【学校評価アンケートでの教育環境満足度75%以上 久・緑】 		
	教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・会議のペーパーレス化の推進。 ・各分掌において業務の必要性を見直す。 ・分掌ごとに毎月1回「はよ帰ろうデー」を実施する。 【各分掌での業務見直しの実施、「はよ帰ろうデー」の実施 久・緑】 		
家庭・地域との連携	保護者への情報発信の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・HPをこまめに更新するとともに、一斉配信システムを活用して保護者の教育活動への理解を進める。 【学校評価アンケート：「学校の様子が分かる」の肯定的評価80%以上 久・緑】 		
	P T A活動への積極的な参加	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の参加を促す行事を計画するとともに、確実な案内を行う。 【いか〜で久美高の対象保護者30名 久・緑】 		
	地域連携による教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な教育活動（実習、探究活動、課題研究、部活動、ボランティア活動等）において、地域との連携による活動を進める。 【年間30回以上 久・緑】 【生徒全員による1回以上の地域連携の取組参加 緑】 		
学習指導	授業規律の確立 「時を守り、場を清め、礼を正す」	<ul style="list-style-type: none"> ・授業を大切にする態度を育てるために、授業規律と教室内の整理整頓の指導を徹底する。 【「授業規律カード」による指導複数回生徒0人 久・緑】 		
	基礎学力の定着と「はぐくみたい3つの力」の育成 (教員の教科指導力向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・成績不振者へきめ細かくていねいな指導をおこない、学年末に不認定科目がある生徒の大幅な減少を目指す。 【学年末で不認定科目がある生徒の割合10%以下 久・緑】 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・各教科・科目の目標（年間指導計画）を意識し、授業アンケート等による振り返り、ICT機器や様々な教材・教具の活用、探究活動の手法の導入等により授業改善を進める。 【授業アンケートでの「力の伸び実感」回答平均3.5以上（4段階評価） 久・緑】 【公開授業・研究授業参観：教員1人年間2回以上 久・緑】 		

		<ul style="list-style-type: none"> ・「みらい探究」や「課題研究」、「総合的な探究の時間」の他、各教科で探究的な活動を計画的に実施する。 ・学校図書館及び新聞を積極的に活用する。 【全生徒による学年発表会での発表 久・緑】 【校内発表会事後アンケートでの「はぐくみたい3つの力」の向上について肯定的回答80%以上 久・緑】 		
	農業教育に関する意欲や知識・技能の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な専門知識や技術の習得を図るとともに、農業関連資格の取得を目指す。 ・学校農業クラブ活動の活性化を図り、各種競技会・講習会に積極的に参加する。 【関連資格取得生徒数のべ40名以上・農業クラブ各種競技会入賞3名以上】 久・緑】 		
生徒指導	生徒が安心して学校生活を送ることのできる環境の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的人権を侵害する行為に対して、全教職員が毅然とした態度で指導する。 ・日常の生徒観察を徹底し、毎週一回アンケート調査を行い、問題の早期発見、早期解決に努める。 【学校評価アンケートでの学校生活への安心度80%以上】 久・緑】 		
	自立・自律した生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の立ち番での指導等を通じて、さわやかな身だしなみ、あいさつ、丁寧な言葉遣いを身につけさせる。 		
	生徒の主体的な取組の促進と生徒の自己有用感の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・毎学期GOOD CARD旬間を設定し、積極的に生徒を承認する。 ・部活動やボランティア活動への積極的な参加を促す。 ・学校行事において生徒の主体的な取組を進め、成功体験を積み重ねることにより自己有用感や満足感を高める。 【部活動継続率80%以上 久・緑】 【ボランティア活動参加への満足度85%以上 久・緑】 【学校行事への満足度85%以上 久・緑】 		
進路指導	進路意識の高揚と進路実現に向けて主体的に取り組む姿勢の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・個人面談等を充実させ、自己理解の深化と進路意識の高揚を図る。 【2年生との全員面談の実施 緑】 【2年生年度末進路希望調査における未定生徒10%以下 緑】 【学校評価アンケートでの進路指導に対する満足度80%以上 久・緑】 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験の事前事後指導を充実し、結果の分析や個別面談を行うなど、きめ細かな指導を行う。 ・放課後講習や土曜講習（3SP）、教科実習等で、希望進路実現に向けて、情報提供とともに専門知識や技術を習得できるよう、関係教員が連携し適切な指導を行う。 【進学講習、3SPの出席率80%以上 緑】 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見据えた指導計画に基づき、関係各部の連携により、キャリア教育の充実を図る。 		

健康安全 指 導	健康で安全な生活を営むための 実践的能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・保健室から健康情報を発信し、自ら健康管理できる生徒を育成する。(保健日より、HPでの保健情報) ・食育キャンペーンを実施し、朝食を摂る習慣や食品の成分を考えて食事を選択できる力を身に付けさせる。 【生活習慣・朝食アンケートでのポイント改善 灰・緑】		
		<ul style="list-style-type: none"> ・「時を守り、場を清め、礼を正す」を合言葉に、美化・掃除活動の指導を行う。 【清掃の取組アンケートで積極的参加が80%以上 灰・緑】		
		<ul style="list-style-type: none"> ・授業や体育行事での事故防止を図るとともに、安全教育を行い、大きな怪我や事故を防ぐ力を身に付けさせる。 【実習中の事故・怪我ゼロ 灰・緑】		
	教育相談・特別支援の必要な生徒への組織的な指導体制構築と指導力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の状況について、教員間の情報交換の機会を増やし、スクールカウンセラー及び専門機関と連携した教育相談・特別支援を進める。 ・特別支援の校内研修を実施する。 		
人権教育	人権教育の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員対象に人権に関する研修会を実施し、高い人権感覚・人権意識を養う。 		
	生徒の人権意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめに関する人権学習を実施し、いじめを許さない雰囲気づくりをする。 ・生徒が互いに尊重し合える関係を育成・向上するために、LHRや学校行事を通して、計画的な指導を行う。 		
学校関係者 評価委員会 による評価				
次年度に向 けた改善の 方 向 性				